

委員会事業方針・事業計画

総務情報発信委員会

担当副理事長 佐藤 昭 義

基本方針

我々、青年会議所は地域の為に率先して行動し「明るい豊かな社会」の実現に向け行動して参りました。今年度もその担いは変わる事なく五所川原青年会議所の運動をスムーズに展開して行く為にも、当委員会が要となり裏方組織を充実させる事が急務だと考えております。各委員会と連携を図り会員全員で地域に根ざした公益団体を目指し「明るい豊かな社会」の実現に向け確かなJC運動が行えるようサポートしなければなりません。

今年度、当委員会として、総会の設営並びに運営、定例会の設営を確実にし各委員会と連携を図りガバナンスの強化に努め、開催された事業内容をしっかりとITを通じて発信し地域の皆様にJC運動を広く周知して参ります。そして、各事業の内容についてコンプライアンスのチェックをし、適正な運営を行うと共に、公益社団法人として維持継続していく為に公益特別室と連携しメンバー全員と情報共有して参ります。

我々、総務情報発信委員会が五所川原青年会議所の要となり、各委員会と連携を図りガバナンスの強化、適正な運営、確かなJC運動を行うことによって地域に根ざした公益団体となり、我々が創造する「明るい豊かな社会」の実現できるものと確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 植崎 誉 人

基本方針

我々、青年会議所は単年度の体制で会員一人ひとりが地域の為に率先して考え、行動し「明るい豊かな社会」の実現に向け運動を展開していく団体です。「奥津軽虫と火まつり」「じょっぱりロード」「市民討議会」など様々な公益的な事業を展開していく為に、組織の運営・管理を確実にし行う事が不可欠です。また、「明るい豊かな社会」の実現に向けた運動がスムーズに展開する為にも、五所川原青年会議所の基礎である当委員会が要となり裏方組織を充実させる事が急務だと考えます。

2014年度総務情報発信委員会として、総会・選考委員会委員選挙・定例会の設営と運営を確実にし行う事は勿論の事、各委員会・公益特別室と連携を図り、ITを駆使した対外への情報発信、公益法人格の維持継続の為に各種勉強会を実施しメンバー全員との情報共有に取り組んで参ります。さらに、ガバナンスの強化とコンプライアンスのチェックを適正に行い、一年間の各種事業を裏方の立場でサポートして参ります。

地域に根ざした公益団体を目指し、総務情報発信委員会が五所川原青年会議所の礎となり、各委員会の行う事業のサポートを強化する事で我々が創造する「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※総会・例会の運営

◎ 新年祝賀会（1月） 他1

2014年度、公益社団法人五所川原青年会議所の活動内容ならびに方向性を関係諸団体に認知と浸透を図ることを目的とした事業

・通信運搬費	40,000円	・消耗品費	18,000円
・印刷製本費	7,000円	・賃借料	25,000円
・委託費	90,000円		

予算 180,000円

◎ 通常総会（2月）

2013年度の事業報告及び、収支決算報告承認をいただくことを目的とした総会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	45,000円

予算 58,000円

◎ 定例会（7月） 他2

選考委員会委員選挙

役員選考委員会委員を選出する事を目的とした定例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	5,000円		

予算 26,000円

◎ 通常総会（9月）

次年度役員候補者及び組織図案の承認、監事選出を行うことを目的とした総会

・通信運搬費	8,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	15,000円

予算 31,000円

◎ 定例会（12月） 他2

次年度基本方針（案）及び、収支予算について報告をいただき次年度へと引き継ぐことを目的とした定例会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃借料	25,000円

予算 55,000円

※その他の事業

◎ 褒賞の企画 他1

今年度特に青年会議所活動に貢献・功労したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とする
(LOM内褒賞)

・雑費 30,000円

予算 30,000円

◎ 基本資料の作成

・印刷製本費 280,000円 (管理費に計上)

予算 280,000円

◎ 会員名簿の作成 (対外配布分)

・印刷製本費 50,000円 (管理費に計上)

予算 50,000円

◎ 定例会の設営

事業費合計 710,000円

まちづくり委員会

担当副理事長 佐藤 昭 義

基本方針

我々、五所川原青年会議所は日本青年会議所の認承を頂いて以来、50年もの長い間一貫して「明るい豊かな社会」の実現を目指し地域の為に運動を展開して参りました。更に、私たちの地域が発展する為には市民、行政、青年会議所が手を取り合って行動し市民の声を集め、これからの地域の輝かしい未来を思い描きながら議論を重ね「明るい豊かな社会」への実現に向け共に行動し、地域に根ざした「まちづくり」を展開していかなければなりません。

その為には、市民、行政、青年会議所が三位一体となり今年度も「市民討議会」を開催し、これからの「まちづくり」を皆で真剣に考え地域の輝かしい未来を創造することから始めて参ります。そして、今年度で2回目となる「らぶ・ごしょがわら実行委員会」を継続し、市民と行政、まちづくりに関係している諸団体とより強い信頼関係を築き、議論を重ね、私たちの地域に必要な事業を具現化し地域に根ざした「まちづくり」をして参ります。

市民、行政、青年会議所が三位一体となり共に行動し議論を重ね、私たちの地域に必要な事業を具現化することによって、地域に根ざした「まちづくり」となり「明るい豊かな社会」への実現に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

委員長 佐々木 篤 史

基本方針

我々、五所川原青年会議所は、地域を「明るい豊かな社会」にするために、JC運動を行って参りました。そして、地域のより輝かしい未来を創造するためにJCは、JCメンバー独自の運動をするのではなく市民、行政と共に市民の声を取り入れ「明るい豊かな社会」を目指すための共通意識を確立しなければなりません。そして、これを実現するためには互いに手を取り合い議論し、地域に根ざした「まちづくり」を行わなければなりません。

市民、行政、JCによる明るい豊かな社会を目指すために2012年度より行われた「市民討議会」。当委員会ではこの会を市民の意見、未来像を開ける重要な場と考え今年も継続して運動を展開し、五所川原の「まちづくり」のために必要なことは何であるかを見出します。また、昨年度より設立された「らぶ・ごしょがわら実行委員会」を今年度も継続し、市民討議会で得られた「まちづくり」に必要なことを内容に踏まえ、市民と共に私たちでできる五所川原のまちづくり運動を展開して参ります。

「まちづくり」事業を通して、市民、行政、JCの三本の矢が結束することで未来へのベクトルを共有し、共に議論を重ねることにより私たちの地域に必要な事業を見出し実現することが、我々の目指す未来の「明るい豊かな社会」へ繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会（11月） 他2

「五所川原市民討議会報告会及び、未来へのまちづくりを考える会」（仮称）

明るい豊かな社会を創造するための市民参加型討議会報告会と未来へのまちづくりを考える会へ参加する定例会

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ・通信運搬費 | 4,000円 | ・印刷製本費 | 2,000円 |
| ・委託費 | 1,000円 | | |

予算 7,000円

※その他の事業

◎ らぶ・ごしょがわら運動（12月） 公3

地域と連携し、五所川原の魅力を発信する事業

- ・支払寄付金 250,000円

予算 250,000円

◎ 五所川原市民討議会（7月） 公3

明るい豊かな社会を創造するための、市民参加型討議会

- ・支払寄付金 200,000円

予算 200,000円

◎ 「五所川原市民討議会報告会及び、未来へのまちづくりを考える会」（仮称）（11月） 公3

愛し誇れるふるさとの未来創造のための、市民参加型討議会報告会

- ・支払寄付金 132,000円

予算 132,000円

事業費合計 589,000円

OMOIYARI発信委員会

担当副理事長 荒 関 晃 介

基本方針

世界から見ると、日本人には他国以上に相手を思いやる心を持っていると言われており、青年会議所運動として我々も「OMO I Y A R I」の精神を発信しております。しかし、近年では近所づきあいが減少し、コミュニケーション不足が増える中で、他人への無関心などから社会問題の原因となっております。このような時代だからこそ、心が育つ青少年時代に互いに助け合う気持ちや相手を思いやる心を育ませる必要があります。

そのために当委員会では、今年度も「じょっぱりロード～OMO I Y A R I への旅～」を開催し、青少年が前向きな意識を持ち行動できるよう育成し、「OMO I Y A R I」の精神に気づく機会を設け学んで頂きます。そして、参加者とボランティアスタッフには、徒歩修業で苦しい時でも困難を乗り越え、互いに支え合いながら相手を思いやる心を育んで頂くと共に、人と人の繋がり大切さを学び、目的に向かって歩み達成した時の感動を体験して頂きます。

次代を担う青少年たちが、徒歩修業を経験することで相手を思いやる気持ちと、人と人の繋がり大切さを知ることにより、心の育成の中でもっとも重要となる「OMO I Y A R I」の精神が育まれます。そして、やがて成長する子どもたちが「明るい豊かな社会」へ導くものと確信致します。

委員長 今 一 憲

基本方針

我々、青年会議所は日本の世界に誇る利他の心「OMO I Y A R I」の精神を世界に向け、日々発信しております。一方で社会的には、ひと昔前のような御近所づきあいは減り、他人のことを気づかう気持ちが薄れゆき、残忍な事件も頻繁に発生するようになったことも事実であります。昔とくらべ、豊かで便利な時代だからこそ、原点に立ち返り「OMO I Y A R I」の精神を育んでいかなければなりません。

そこで、当委員会では青少年へ「OMO I Y A R I」の精神を伝えるべく、第6回「じょっぱりロード～OMO I Y A R I への旅～」を開催いたします。この徒歩修行を通じて、つらく険しいながらも自分のことより、まず共に歩む仲間を思いやることに対しての気づきを得ていただき、またボランティアスタッフと参加者が互いに、一生忘れることができない思い出と共に、人と人の繋がり的重要性について体験して頂きます。

次代を担う青少年たちが、この事業に参加し実際経験することで育まれる、人の繋がり「OMO I Y A R I」の精神。それは、子どもたちの未来を明るく照らす道しるべとなり、やがて成長した子どもたちが「明るい豊かな社会」へと導いてくれるものと確信致します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 公開定例会（8月） 公1

「じょっぱりロード2014～OMOIYARIへの旅～」(仮称)

参加者・ボランティアスタッフ・JCメンバーそれぞれが「徒歩修行」を通じ「OMOIYARI」の精神を育む公開定例会。

・旅費交通費	200,000円	・通信運搬費	20,000円
・消耗品費	90,000円	・印刷製本費	50,000円
・燃料費	20,000円	・賃借料	180,000円
・保険料	30,000円	・諸謝金	30,000円
・委託費	350,000円	・衛生費	10,000円
・雑費	230,000円		

予算 1,210,000円

※その他の事業

◎ 「じょっぱりロード2014～OMOIYARIへの旅～事業報告会」(仮称)(9月) 公1

参加者・ボランティアスタッフと共に「じょっぱりロード2014～OMOIYARIへの旅～」を振り返り、「OMOIYARI」の精神が育めたかを検証する事業報告会とする。

・通信運搬費	12,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	23,000円
・保険料	5,000円	・委託費	13,000円
・雑費	27,000円		

予算 90,000円

◎ わんぱく相撲津軽地区及び全国大会 公1

わんぱく相撲各大会の設営及び運営

・旅費交通費	90,000円	・通信運搬費	1,000円
・保険料	2,000円	・支払負担金	10,000円
・委託費	30,000円	・雑費	30,000円

予算 163,000円

事業費合計 1,463,000円

まつり進展委員会

担当副理事長 宮崎 敬也

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて毎年開催している「奥津軽虫と火まつり」は、諸先輩方の弛まぬご尽力と地域の皆さまからのご理解に支えられて、本年度で42回目を数える伝統行事となりました。しかし、年を追う毎に虫おくり団体の減少が懸念されており、地域に根ざしたこの伝統の燈火を絶やすことなく、地域の幸せを願うまつりとして次なる半世紀に渡り繁栄していくためには、関係諸団体との更なる連携を図りながら、継続的な運動展開をしなければなりません。

そのためには、近年に引き続き西北五地域の学生の方々より当会への事業参画をいただきながら、次世代を担う子ども達に「奥津軽虫と火まつり」の意義を広く伝播することでまつりへの参加に繋がります。また、関係諸団体との更なる連携を図りながら、虫おくり団体減少への打開策を共に模索し、克服に向けて行動を興すことにより、地域の幸せを願うこのまつりがより繁栄していけるよう土壌造りを行います。

次世代を担う子ども達に「奥津軽虫と火まつり」の意義を広く伝播しながら、関係諸団体との更なる連携を図り継続的な運動展開をすることで、地域に根ざしたこの伝統の燈火は絶えることなく、地域の幸せを願うまつりとして次なる半世紀に渡り繁栄すると確信します。

委員長 島村 豊次

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて毎年開催している「奥津軽虫と火まつり」も今年度で42回目を数える伝統行事となりました。しかし、時代の流れと共に虫おくり団体の減少や、まつりの後継者不足等と様々な問題を抱えております。そのような状況において次なる半世紀に渡り繁栄していくためには、関係諸団体との情報・意識共有を図りながら活気溢れるまつりにしていかなければなりません。

そのためには、一昨年より始まったまつり親善大使事業を通じて、地域の子どもの達を対象に「虫おくり紙芝居」「行灯作り」などの事業を継続的に行うことで、このまつりが持つ意味と素晴らしさを伝播してまつり本番への参加に繋がります。また、虫おくり団体の減少を改善し、この伝統行事の担い手となるための第一歩として、関係諸団体との情報・意識共有を図りながら地域の子どもの達に虫おくりへ参加できる環境づくりに取り組みます。

次世代を担う子ども達に「奥津軽虫と火まつり」の意義を理解していただく事で、このまつりの様々な問題の解決策に繋がっていき、先人たちが築き上げてきた伝統の燈火を絶やす事無く、次なる世代の燈火を受け継いで、地域の幸せを願うまつりとして繁栄すると確信します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 公開定例会（4月） 公2

『奥津軽虫と火まつりの歴史を体験しよう!』（仮称）

西北五の学生の方々に「奥津軽虫と火まつり」の歴史を学んでいただき、親善大使として広報していく為に必要な知識を身につけていただく公開定例会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	20,000円	・貸借料	15,000円
・保険料	5,000円	・諸謝金	15,000円
・委託費	30,000円	・雑費	15,000円

予算 110,000円

◎ 公開定例会（6月） 公2

『奥津軽虫と火まつり』

公益社団法人五所川原青年会議所が主催となり、地域の人々や参加者と共に「天下泰平・国家安泰・五穀豊穰・悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願うまつりを運営する機会とした公開定例会。

・旅費交通費	5,000円	・通信運搬費	75,000円
・消耗什器備品費	60,000円	・消耗品費	750,000円
・印刷製本費	45,000円	・貸借料	110,000円
・保険料	200,000円	・諸謝金	200,000円
・租税公課	10,000円	・支払負担金	20,000円
・委託費	1,700,000円	・衛生費	155,000円
・雑費	200,000円		

予算 3,530,000円

※その他の事業

◎ 奥津軽虫と火まつりPR事業（仮称） 公2

「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活動する事業

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	20,000円
・印刷製本費	5,000円	・保険料	10,000円
・委託費	30,000円	・雑費	30,000円

予算 100,000円

事業費合計 3,740,000円

会員拡大委員会

担当副理事長 坂本 興平

基本方針

五所川原青年会議所は今年度認承50周年を迎えます。戦後の衰退した地域の中で、この地の青年が立ち上がり相集い力を合わせ「明るい豊かな社会」の実現に向け、半世紀に渡り歩みを止めることなく、様々な運動を展開して参りました。しかし、全国的な少子高齢化や経済低迷による会員減少が問題となっているのも事実です。今後の半世紀においても、我々青年会議所が旗手となり、市民と共に更なる運動を展開して行く為に、品格ある青年の拡大と育成をしていかなければなりません。

まずは、次なる半世紀に向け会員拡大こそがJC運動の根幹であるということを伝えて参ります。また、LOM独自の運動展開と共に、日本青年会議所や青森ブロック協議会とも連携を図りながら、会員拡大と育成を行って参ります。そして、現在我々の活動拠点である西北五地域の20～40歳以下の約23,000名の内、1人でも多くの方々へ青年会議所運動の魅力を発信して参ります。さらに、五所川原青年会議所が、今後の半世紀においても継続展開できるよう情熱をもって活動して参ります。

青年会議所は時代と共に新しい呼吸を続け、次々と新しい青年がこの団体を背負っていきます。過去の半世紀の諸先輩方の行跡に敬意を表し、更なる50年に向け五所川原青年会議所が未来永劫に渡り、存続し「明るい豊かな社会」の実現に向け運動展開することで「輝かしい未来」を創造します。

委員長 花田 憲一郎

基本方針

認承された昭和39年からこの地の志を同じうする青年が相集い力を合わせ「明るい豊かな社会」の実現にむけ半世紀に渡り様々な運動を展開して参りました。しかし、団塊ジュニア層の年代も過ぎ去ろうとしており会員の減少が問題となっているのも事実です。今後の半世紀においても我々JAYCEEが旗手となり市民と共に更なる運動を展開して行く為に品格ある青年の拡大と育成をしていかなければなりません。

まずは、西北五地域の20～40歳以下を対象とした青年に青年会議所運動と活動を認知していただき会員の拡大を行って参ります。また、青森ブロック協議会と連携を図り、会員拡大セミナーを実施し会員個々が会員拡大に対する意義や目的学び、LOM独自の運動展開に活かして参ります。そして、会員が品格ある青年に育つようにマナーやおもてなしの心を学ぶ育成事業を行います。さらに、先輩方から五所川原青年会議所の歴史、経験を生かした知恵、考え方などを学ぶ交流事業にも努めて参ります。

会員が「品格あるJAYCEE」となり情熱をもって多くの青年に青年会議所活動を伝えJC運動の根幹となる会員拡大をする事で「輝かしい未来」を創造して参ります。その結果、更なる50年青年会議所が存続し運動展開することで「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと信じ邁進致します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会（3月） 他2

「会員拡大の意義や目的を学ぶ事業」（仮称）

会員拡大に繋げることを目的とする講師例会。

・旅費交通費	35,000円	・通信運搬費	6,000円
・消耗品費	10,000円	・印刷製本費	5,000円
・賃借料	15,000円	・諸謝金	10,000円
・雑費	5,000円		

予算 86,000円

◎ 定例会（10月） 他2

「マナーやおもてなしの心を学ぶ育成事業」（仮称）

品格あるJCメンバー育成の一つの手段としてマナーやおもてなしの心を学ぶことを目的とする定例会。

・旅費交通費	30,000円	・通信運搬費	6,000円
・消耗品費	15,000円	・印刷製本費	15,000円
・賃借料	10,000円	・諸謝金	10,000円
・雑費	5,000円		

予算 91,000円

※その他の事業

◎ 異業種交流会（未定） 他1

会員拡大（西北五地域の20～40歳以下対象）に繋げることを目的とする事業。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	15,000円
・雑費	5,000円		

予算 41,000円

◎ 新入会員セミナー（11月） 他1

新入会員（入会3年未満）を対象にJCへの理解を深めていただくことを目的とする。

・通信運搬費	3,000円	・印刷製本費	2,000円
・消耗品費	2,000円		

予算 7,000円

◎ クリスマス家族交流事業（12月） 他1

普段からJC運動にご理解、ご協力を頂いているメンバーの家族に感謝の意を表すこととメンバー家族同士の親睦交流を目的とする事業。

・通信運搬費	3,000円	・印刷製本費	2,000円
・消耗品費	3,000円	・雑費	68,000円

予算 76,000円

◎ OBと現役メンバーとの交流事業（9月） 他1

日頃現役メンバーへのご指導、ご助言を頂いているOBの方々へ感謝の意を表すことと、現役メンバーとOBとの親睦交流を目的とする事業。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	15,000円
・印刷製本費	5,000円		

予算 26,000円

◎ 会員拡大会議（3月～9月予定） 他1

他委員会の定例会と日程を調整し定期的に会員拡大会議を実施し、メンバー全員で会員拡大に対する意識共有を図り、効率的に会員拡大に繋げることを目的とする会議。

・印刷製本費	5,000円
--------	--------

予算 5,000円

事業費合計 332,000円

50周年特別室

室長 佐々木 邦 和

基本方針

1963年、五所川原青年会議所が設立され、翌年日本青年会議所に254番目の会員会議所として入会致しました。以後半世紀に渡り、一貫して「明るい豊かなまち」の創造を目的とし、「人づくり」「まちづくり」運動を展開して参りました。50年を迎えた今尚、私たちが「明るい豊かなまち」の創造に向け運動を継続しているのは地域の深い理解と諸先輩方の弛まぬ努力の賜物であります。私たちは地域の支えに感謝し、脈々と紡いできた歴史を敬い、次代に向けてさらなる運動を行わなくてはなりません。

今日、私たちは「奥津軽虫と火まつり」「青少年育成事業」「地域開発事業」を行い、「明るい豊かなまち」の創造へ向けてアプローチしております。この運動のさらなる発展のために、記念事業として「人づくり」「まちづくり」創造事業を開催いたします。また、創始より脈々と紡いできた歴史を深く理解し、次代の青年会議所を創造する機会を設けます。さらには、これまで私たちを支えてくださった地域に、諸先輩方に感謝の意を表すると共に、これまでの行跡を50年の想いを込め発信いたします。地域に支えられ、創始より紡いできた弛まぬ努力が今日の五所川原青年会議所を形作っています。地域に、人に感謝し、そして半世紀にわたる不変の想いをしっかりと受け継ぎ、さらなる次代へ運動を創造し行動することが明るい地域の未来に繋がるものと確信し、次なる50年への一步を踏み出します。

担当理事 山 田 貴 之

基本方針

今年度、五所川原青年会議所は認承50周年の記念すべき節目を迎えることができました。「明るい豊かなまち」実現に向け地域と共に数多くの運動を展開して参りました。人づくりやまちづくり、伝統や文化の継承など今も運動を継続しているのは、礎を築かれた諸先輩方と地域の皆様からによるご支援、ご協力の賜物であります。私たちはこれまでの運動の燈火を絶やさぬため、「明るい豊かなまち」創造のためにもさらなる挑戦、運動を行い、次代に向けて確かな一步を踏み出さなければなりません。

当室では記念事業として、薄れゆく伝統と文化の保存のための機会を設けます。また、青少年が自分と地域と向き合うことで、青少年と地域の未来に繋がる事業を開催いたします。さらには創立50年という長い歴史を紐解きながら、これからの五所川原青年会議所さらなる発展のための指針を策定いたします。また、皆様に感謝の意を込め記念式典を開催すると共に、50年という長い歴史を紡いでこられた諸先輩方の活動を振り返り、次世代へと繋ぎ活かされるための記念誌を発行いたします。

50年という長い歴史の歩みを引き継ぎ、そして昔と変わらぬ情熱を持って、地域と共に尽力を尽くし邁進していくことが、「明るい豊かなまち」創造に繋がるものと確信し、輝かしい未来へ向けて踏み出します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会（5月） 他2

「Creation 50 ～五所川原JC未来創造～」(仮称)

認承50年を迎えるに当たりこれまでの運動の理解と共に更なる五所川原青年会議所発展のための定例会。

・通信運搬費	4,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	4,000円	・貸借料	10,000円
・委託費	3,000円		

予算 24,000円

※その他の事業

◎ 50周年実行委員会（1月～12月 全12回） 他2

50周年に係る会議体の運営

・通信運搬費	6,000円	・貸借料	15,000円
--------	--------	------	---------

予算 21,000円

◎ 「奥津軽虫と火まつり展示室」(仮称)（4月～12月） 公2

奥津軽虫と火まつりを広く発信する事業

・通信運搬費	54,000円	・消耗什器備品	179,000円
・印刷製本費	49,000円	・委託費	11,000円
・雑費	11,000円		

予算 304,000円

◎ 「青少年によるまちづくりコンテスト」(仮称)（9月） 公3

青少年と地域の輝かし未来創造のための「青少年によるまちづくりコンテスト」

・通信運搬費	5,000円	・印刷製本費	175,000円
・旅費交通費	14,000円	・貸借料	20,000円
・委託費	48,000円	・諸謝金	45,000円

予算 307,000円

◎ 「公益社団法人五所川原青年会議所認承50周年記念式典」(仮称)（10月） 他3

これまで当会を支えてくださった皆様に感謝を表す認承50周年記念式典

・通信運搬費	47,000円	・消耗品費	7,000円
・印刷製本費	6,000円	・委託費	123,000円
・貸借料	50,000円	・渉外費	108,000円

予算 341,000円

◎「公益社団法人五所川原青年会議所認承50周年記念誌」(仮称) 他3

50年という長い歴史を紡いでこられた諸先輩方の活動を振り返りと共に未来創造し、次世代へと繋ぎ活かされるための記念誌の発行

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	1,000円
・印刷製本費	501,000円	・賃借料	8,000円

予算 515,000円

事業費合計 1,512,000円

専務理事 上 見 一 嘉

基本方針

五所川原青年会議所は、50年間に渡り「不撓不屈の精神」で「結の精神」が息づくこの地域を創造して参りました。その中で諸先輩方が「英知と勇氣と情熱」を持ち継続してきた運動は、市民の意識を変革へと導き続けて参りました。我々現役メンバーも共有意識を持ち市民意識変革運動を推し進めて行かなくてはなりません。また、諸先輩方に敬愛の念を示しながら、我々青年世代が率先して「明るい豊かな社会」の実現に向けて運動を展開し、地域に必要とされる団体となるよう努めなければなりません。

そこで、当会の統括としてスケジュール管理を行いながら、各委員会で推し進める運動がより活発なものになるように、会議の運営や情報の伝達などを確実に行って参ります。また、公益法人団体として市民に開かれた団体となれるよう公益法人格を維持継続すると共に、情報収集や関係する各部署の調整に努め、裏方である事務局をしっかりと支援して参ります。さらに、周年事業の推進や青森ブロック内で開催される2015年度東北八戸全国大会のサポートも行って参ります。

公益社団法人五所川原青年会議所が市民に必要とされる団体となるべく、全メンバーが意識を高く持ち、事業展開しながら青年世代としての熱い想いを伝え続けて行くことにより、必ず「輝かしい未来の創造」に繋がるものと確信し、1年間邁進して参ります。

公益特別室長 秋 元 秀 雄

基本方針

2012年度に公益法人格に移行し、公益社団法人五所川原青年会議所となりました。公益法人格を維持継続させるためには、毎年精査された関係書類を提出すると共に、日々の運動が公益法人制度改革関連3法に沿った運営となっていなければならない、単年度制の青年会議所としては公益法人格継続に必要な知識と運営方法の継承が不可欠となります。それには、JC運動を行うメンバー全員が、公益法人格を深く理解し、運動をしていかなければなりません。

まずは、公益法人格に関する情報収集を行うため、勉強会へ積極的に参加します。そして、五所川原JCメンバーが、公益法人格に必要な知識を深める事を目的とする、「公益法人格セミナー」を開催致します。また、公益法人格の維持継続のため、総務情報委員会及び財務局長、専務理事と連動し、公益的視点からJCメンバーに対するサポート及び、法令に沿ったチェックを行い、スムーズな定期提出書類の作成につなげて参ります。

公益社団法人五所川原青年会議所のメンバーが、公益法人格の理解を深め日々の事業へ取り組むことによって、ガバナンス及びコンプライアンスの強化となり、公益法人格が継続されることに繋がり、地域に根差した事業を行うことが「明るい豊かな社会」を実現すると確信しております。

事業計画並びに事業予算

※その他事業

◎ 公益特別室の立ち上げ

公益特別室を組織し、公益社団法人五所川原青年会議所全体の、公益法人格に関する運営の強化を目的とする。

◎ 公益法人格セミナー（4月） 他2

公益法人格について知識を深め、今後のJC運動に活かす事を目的とした事業

・旅費交通費	7,000円	・通信運搬費	4,000円
・消耗品費	1,000円	・印刷製本費	4,000円
・賃借料	4,000円	・諸謝金	30,000円
・委託費	3,000円	・雑費	5,000円

予算 58,000円

◎ 公益法人格セミナー（未定） 他2

公益法人格の基本再確認と、公益法人格に関わる情報の共有を目的とする事業

・通信運搬費	6,000円	・印刷製本費	3,000円
・消耗品費	3,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	5,000円		

予算 22,000円

事業費合計 80,000円

事務局長 對馬 幸 征

基本方針

愛する地域の為に様々な運動を行っている五所川原青年会議所は、諸先輩方の長きにわたる功績とこの地域との繋がりにより今年度で認承50周年を迎えることができました。その輝かしい年度に現役メンバーとして活動できることを光栄に思います。私達は、今まで以上にこの地域の市民一人ひとりが笑顔でいられるように、50周年記念式典並びに祝賀会をはじめとする各種事業を確実に成功させ、地域から信頼される組織運営に取り組んでいかなければなりません。

そのためにも、事務局長としてこの地域の市民・他団体を繋ぐための窓口となり、情報共有しながら各委員会が活発な事業を行えるよう環境を整えます。また、理事会の運営をスムーズに行えるよう迅速な会場設営・資料の作成をすることにより有意義な会議の開催に努めて議事録の作成を正確に行い、正式な審議データを事務局に保存・保管します。さらに、円滑且つ効果的な活動を行えるよう専務理事を補佐し、当会の事務局を支えて参ります。

事務局は、愛する地域と公益社団法人五所川原青年会議所を繋ぐ窓口であるからこそ、信頼を築き上げられるように裏方組織が一致団結し事を成すことで「輝かしい未来の創造」に繋がるものと信じ一年間邁進して参ります。

財務局長 木 村 公 治

基本方針

五所川原青年会議所は今年度で認承50周年を迎えます。2012年度より公益法人に移行し、公益社団法人五所川原青年会議所となりました。公益法人格の維持を最優先に考え、年間計画の中で決定した通りに公益事業を行っていくことも必要不可欠です。諸先輩方が築き上げて来た50年を敬い、そして、これからの公益社団法人五所川原青年会議所を継続するために財務局長として準備をしていかなければなりません。

そこで、各事業を円滑に進めていくために各委員会から挙がる予算書が適正であるか確認し、理事会への資料として取りまとめます。また、各事業終了後には帳票に整理し管理を徹底すると共に、公益法人としてしっかりと当会が運営されているか精査していきます。総務情報発信委員会や公益特別室と連携を図り、公益・財務調整会議を隔月単位で開催すると同時に公益法人格維持のため情報収集を行ない適正な財務管理に繋げてまいります。

公益社団法人五所川原青年会議所であり続けるために安定的で持続可能な財源を持った強固な財政基盤を確立し、地域に根ざした活動を続けることで、健全な公益団体となります。その五所川原青年会議所が運動を続けることで「明るい豊かな社会」の実現に繋がります。

総務情報発信委員会

広報担当理事 平 田 浩 介

基本方針

2012年度に公益社団法人五所川原青年会議所となり、地域から信頼される団体としてスタートを切りました。地域に根ざした公益団体として地域のために運動を続け、この地域の皆様と共に運動を展開していく団体になっていくためにも、我々青年会議所が行っているJC運動を随時発信し、地域の皆様のご理解ご協力を得て運動を展開していくと共に、公益法人格の継続のためにも会員同士が情報を共有し一致団結して行かなければなりません。

そのためには、誰でもいつでも情報を閲覧出来るようにホームページの運営や広報誌等の発行を行い地域の皆様にご協力とご理解を深めていただくよう、JC運動を広く周知して参ります。また、ブログやフェイスブックの運営に努め、ITを駆使して運動の様子や活動内容を発信し会員同士の意識向上や共通理解を深め今まで以上に一致団結して運動を展開していく共に、多くの人が安全に見られるように厳正した情報管理に努めて参ります。

我々が地域に根ざした公益団体になりうるためにもしっかりと管理運営された情報の発信を行い、我々青年会議所と地域の皆様との共通理解を深め、共に運動を展開していくことで我々が創造する「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※その他の事業

◎ 広報紙の発行（6月） 他3

対外に向けて主な事業の紹介や各事業における委員長の意気込み等を記載した対外紙の発行を行います。

・印刷製本費 130,000円

予算 130,000円

◎ 広報室の召集と運営

◎ ブログの更新

◎ フェイスブックの更新

◎ ホームページの更新

事業費合計 130,000円

年間スケジュール表 (事業)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本青年会議所	京都会議 (京都) 23日(木)～26日(日) 総会 (京都)25日(土)		復興創造フォーラム (いわき) 8日(土)～9日(日)			
東北地区協議会	会員会議所会議 (京都)25日(土) 役員会議 (仙台)10日(金)	役員会議 (仙台)7日(金) ゼミナール開校式 (仙台) 8日(土)～9日(日)	役員会議 (酒田)14日(金)	役員会議 (大船渡)11日(金) 新・東北3つの夢 総決起大会in秋田 (秋田)12日(土)	役員会議 (二本松)9日(金)	役員会議 (八戸)10日(火)
青森ブロック協議会	役員会議 (青森)16日(木)	役員会議 (青森)12日(水) 会員会議所会議 (八戸)1日(土) 新春名刺交換会 (八戸)1日(土) 会員会議所会議 (三沢)22日(土) アカデミー大学開校式 (八戸) 1日(土)～2日(日)	役員会議 (青森)12日(水) 会員会議所会議 (むつ)29日(土) アカデミー大学 (黒石) 15日(土)～16日(日)	役員会議 (青森)9日(水) アカデミー大学 (弘前) 19日(土)～20日(日)	役員会議 (青森)14日(水) 会員会議所会議 (青森)3日(土) 会員会議所会議 (弘前)24日(土) アカデミー大学 (むつ) 17日(土)～18日(日)	役員会議 (青森)11日(水) 会員会議所会議 (十和田)28日(土) アカデミー大学 (五所川原) 21日(土)～22日(日)
五所川原青年会議所	新年祝賀会 17日(金)	通常総会 26日(水)	定例会 17日(月)	定例会 17日(木)	定例会 17日(土)	定例会 「奥津軽虫と火まつり」 17日(火)
理 事 会	7日(火)	5日(水)	5日(水)	4日(金)	5日(月)	5日(木)
総務情報発信委員会	新年祝賀会	通常総会				
まちづくり委員会						
OMOIYARI発信委員会					わんぱく相撲	
まつり進展委員会				定例会主管		定例会主管 「奥津軽虫と火まつり」
会員拡大委員会			定例会主管			
50周年特別室					定例会主管	

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本青年会議所	国際アカデミー (半田) 7日(月)～11日(金) サマーコンファレンス (横浜) 19日(土)～20日(日)			全国会員大会 (松山) 9日(木)～12日(日) 総会 (松山)10日(金)	(JCI)世界会議 (ドイツライプツィヒ) 24日(月)～29日(土)	
東北地区協議会	役員会議 (大館)11日(金)		東北青年フォーラム (酒田) 6日(土)～7日(日) ゼミナール閉校式 (酒田)6日(土) 役員会議 (酒田)6日(土)	役員会議 (高島)3日(金)	役員会議 (仙台)4日(火)	会員会議所会議 (大曲)5日(金) 役員会議 (大曲)4日(木)
青森ブロック協議会	役員会議 (青森)2日(水) 会員会議所会議 (十和田)12日(土) ブロック会員大会 (十和田)13日(日) アカデミー大学 (十和田) 12日(土)～13日(日)		役員会議 (青森)10日(水) 会員会議所会議 (黒石)27日(土) アカデミー大学閉校式 (青森)20日(日)	役員会議 (青森)8日(水) 会員会議所会議 (五所川原) 25日(土)	役員会議 (青森)5日(水) 会員会議所会議 (未定)15日(土)	
五所川原青年会議所	選考委員会委員選挙 17日(木)	じよっぱりロード 17日(日)	通常総会 17日(水)	定例会 17日(金)	定例会 17日(月)	定例会 17日(水)
理 事 会	4日(金)	5日(火)	5日(金)	3日(金)	5日(水)	5日(金)
総務情報発信委員会	選考委員会委員選挙		通常総会			
まちづくり委員会	五所川原市民討議会				定例会主管	
OMOYARI発信委員会		じよっぱりロード2014	じよっぱり事業報告会			
まつり進展委員会						
会員拡大委員会			OBとの交流事業	定例会主管	新入会員セミナー	家族交流会
50周年特別室				50周年式典		